

2016 動物感謝デー in JAPAN  
“World Veterinary Day”

開催趣意書



平成28年6月

公益社団法人 日本獣医師会

## 趣 旨 と 目 的



私たちが飼育する様々な動物たちは、①動物性たんぱく質の供給源として、また、②家族の一員、生活の伴侶として国民生活に貢献するとともに、最近では、③補助犬等の介護・福祉分野や、学校での動物飼育を通じた教育分野に対する貢献、更には、④野生動物の生物多様性の確保・自然環境保全のモニターとしての役割や、⑤動物介在療法（アニマルセラピー）や災害救助犬の活躍といった人の健康や生命を守る役割を果たす等、国民にとって身近でかけがえのないものとして、その存在と位置づけが大きく変化し、クローズアップされてきています。

一方、獣医師は、動物に対する医療の提供はもとより、畜産物の生産から流通に至る安全性の確保と生産性の向上、人と動物の共通感染症の防疫、医薬品の開発・研究、獣医学の教育・研究、動物福祉・愛護、野生動物保護管理等、実に多岐に渡る役割を担い、その社会的責任と寄せられる期待はさらに高まっています。

日本獣医師会は、こうした社会的要請や期待に応え、獣医師及び獣医療の質の向上をすすめていくためには国民的理解が不可欠であると考え、動物の果たす社会的役割及びそれを飼育することの重要性、また、動物の健康を支える獣医師の役割とその活動の実情と多様性を広く国民の皆様に普及・啓発するイベントとして「動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」を2007年から継続して毎年秋に開催しています。

このイベントはまた、獣医師の役割の理解向上を目的に世界獣医師会（WVA）が各国での開催を提唱している「World Veterinary Day」について、WVA加盟獣医師会である日本獣医師会が開催する日本イベントとしての役割も併せ持っています。

また、2016動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”は、2016年11月10・11日の両日、福岡県北九州市において世界各国の医師・獣医師等が参加して開催される第2回世界獣医師会－世界医師会“One Health”に関する国際会議の翌日に、近隣会場にて開催されるため、世界から大きな注目を浴びることが期待されています。

人と動物が共存して生きる豊かな社会の構築は、広く国民の生活と社会全体の質の向上につながります。動物福祉・愛護精神の一層の普及は、市民生活の向上と動物関連産業基盤全般の発展に貢献します。これらを目的とする動物感謝デー事業を、本会では公益法人としての普及啓発事業の中核として位置付けています。

つきましては、関係省庁・自治体・関係機関はじめ、動物関連企業・団体・機関の皆様におかれましては、動物感謝デーの趣旨をご理解の上、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

平成 28 年 6 月

2016動物感謝デー in JAPAN 実行委員会

委員長 藏内 勇夫

(公益社団法人 日本獣医師会会長)

# 2016 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”

## 開 催 概 要

### 1 名 称

2016 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”

### 2 開催目的

獣医師、獣医療の果たすべき社会的役割とともに、動物の社会参加の促進のための動物の福祉と愛護精神の高揚を図り、また、広く一般市民に普及・啓発することにより、獣医事並びに動物の福祉及び適正飼養に関する施策推進を通じ、人と動物が共存する豊かで健全な社会の形成に寄与することを目的とする。

### 3 テーマ

「— 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。—」

### 4 日 時

平成 28 年 11 月 12 日（土） 10：00～17：00

### 5 場 所

西日本総合展示場及びあさの汐風公園（福岡県北九州市小倉北区）

### 6 主な開催内容

協賛・後援企業・団体・獣医学系大学等によるステージ企画及びブース展示・物品頒布企画、動物ふれあいコーナー（家庭動物・家畜とのふれあいと獣医師によるふれあい指導）、はたらく動物たち（補助犬、災害救助犬、警察犬等）のデモンストレーション、一日獣医師体験コーナー、獣医師の役割紹介、動物にまつわる有名人トークショー、獣医学生コーナー、獣医師による家庭動物の飼育相談、地方獣医師会による展示（動物医療関係展示、動物飼育関係展示、動物愛護関係展示、安全で質の高い畜産物の生産に係る展示）、等

7 来場予定人数

一般市民、小・中・高校生、獣医学系大学及び動物看護職養成機関在学生、  
獣医療関係者（獣医師・動物看護職等）、動物関連業界関係者等 約 10,000 名

8 主 催

公益社団法人 日本獣医師会

〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル西館 23 階

TEL : 03-3475-1601 FAX : 03-3475-1604

e-mail : [doubutsu@nichiju.or.jp](mailto:doubutsu@nichiju.or.jp)

URL : <http://nichiju.lin.gr.jp/>

9 後 援

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務省、  
観光庁、内閣府食品安全委員会

ほか関係機関・団体等から後援いただきます。

10 特別協賛（前回実績）

共立製薬株式会社

日本全薬工業株式会社

ロイヤルカナン ジャポン合同会社

メリアル・ジャパン株式会社、アニコム損害保険株式会社  
株式会社ペットオフィス

11 協賛・協力団体（前回実績）

日本中央競馬会 公益社団法人全国農業共済協会 公益社団法人畜産技術協会  
公益社団法人中央畜産会 公益社団法人日本愛玩動物協会  
公益社団法人日本装削蹄協会 公益社団法人 Knots  
一般社団法人家庭動物愛護協会 一般社団法人ジャパンケネルクラブ  
一般財団法人全国緊急災害時動物救援本部 一般社団法人全国ペット協会  
一般社団法人日本小動物獣医師会 一般社団法人日本聴導犬推進協会  
一般社団法人日本養豚開業獣医師協会 一般社団法人ペットフード協会  
特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会 狂犬病臨床研究会  
農場管理獣医師協会 農場どないすんねん研究会（NDK） 放鷹義塾  
学校法人シモンノ学園／国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校  
学校法人ヤマザキ学園／ヤマザキ学園大学 東京都立園芸高等学校  
日本獣医学生協会  
北海道大学 帯広畜産大学 岩手大学 東京大学 東京農工大学 岐阜大学  
鳥取大学 山口大学 宮崎大学 鹿児島大学 大阪府立大学 酪農学園大学  
北里大学 日本獣医生命科学大学 日本大学 麻布大学  
全国55都道府県市獣医師会

このほか、獣医療・動物愛護福祉・畜産関連企業及び団体、学校飼育動物・動物介在活動関係企業及び団体、動物医薬品関連企業及び団体、飼育動物関連企業及び団体、報道関係、出版社など、動物及び獣医療に関係する企業・団体に幅広く協賛・協力をいただく予定です。





公益社団法人

いのちみつめる。いのち育む。

日本獣医師会

[問合せ先]

公益社団法人日本獣医師会 動物感謝デー事務局 (担当: 駒田、松岡、原、長野)  
〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階

TEL: 03-3475-1601 FAX: 03-3475-1604 e-mail: [doubutsu@nichiju.or.jp](mailto:doubutsu@nichiju.or.jp)

イベントホームページ URL: <http://doubutsukansha.jp/>